

## 第4回 北上川上流ダム再生環境影響評価技術検討委員会 議事概要

(事務局説明を除く、質疑応答について記載)

(○：委員、●：事務局)

### 1. 前回委員会での意見と対応状況について

○委員：ダム再生後の貯水位変動のパターンについては、湖岸の外来種であるイタチハギの分布変化にも関わることから、今後の予測評価の段階では、より丁寧な記載をお願いしたい。

●事務局：ご意見のとおり対応します。

### 2. 方法書(案)について

○委員：堤体材料の調達方法の比較結果について、B案の材料品質においては2社の材料採取地が異なることが分かるように記載した方が良い。

●事務局：ご意見のとおり対応します。

○委員：A案とB案の優劣の比較であれば、○と×だけの評価で良い(△は不要)。

●事務局：ご意見のとおり対応します。

○委員：B案の記載内容は、A案との比較結果を示しており適切でないため、各項目の状況を正確に記載すること。

●事務局：ご意見のとおり対応します。

○委員：材料購入であっても、岩石の採取を行う場所の開発は行われることになるため、材料採取業者に社会的責任としての環境配慮をお願いすることはできないか。

○委員：材料の購入先が決定した段階で、材料採取業者にお願いできると良い。

●事務局：既存採石場について確認します。

<参考>

採取場所の開発に必要な環境配慮として、既存採石場周辺では、法令に基づく生息地等保護区や重要な植物群落が分布しないこと、自然環境保全地域に指定されていないこと  
又、採石法の採取計画の届出にあたり、採取跡地の緑化計画等の承認が必要なことを確認しております。

○委員：A案の自然環境影響の項目においては、原石山予定地で行われた現地調査の結果として、重要種の確認状況も記載すると良い。

●事務局：ご意見のとおり対応します。

### 3. 今後の予定について

<意見なし>

### 4. 委員会資料の公開対象について

●事務局：資料の公表範囲は後日、事務局で案を作成し各委員に照会します。